

Gpress

せたがや

GpressのGは愛称「げんき」のGです。

第21号

2014年
9月20日発行

「ジープレスせたがや」
業務受託 社会福祉法人 嬉泉
http://www.ryo-iku.jp



人はみな同じではない、 ということ

私たちは成人の方々の発達障害に関わるご相談にあずかる機会も多く、特に職場でのさまざまなご苦労を伺います。

「仕事の話はできるのですが、休憩時間に雑談することができず、苦痛です。」「コンビニで働いていますが、お客さまの質問に答えるのが遅い、としょっちゅう叱られます。私は聞いたことを頭の中で一度文字に置き換えて理解するので遅くなっちゃうんです。」「飲食店で働いていますが、愛想が悪いと注意されます。会計を間違えないようにすることと、お客様に愛想よく対応することを同時にすることができないんです。」

私たちは例えば「英語ができない」ということは許すことができるのに、雑談ができない、愛想が悪い、受け答えに時間がかかる、などのことを許そうとせず、「暗い」とか「横柄だ」とか「態度が悪い」などと、あたかもその方の人柄を否定するような見方をしがちなのではないのでしょうか。

人はみな同じではないのです。休憩時間にみなと和気あいあいと雑談をすることを好ましいこととし、そうでなければならないというような人間の見方を固定してしまうことは危険なことではないのでしょうか。

大多数の人々に共通な感覚とは少し違う感覚を持つ人々の立場を理解できるようになることが大切だと思います。



世田谷区発達障害
相談・療育センター
って どんどころ？

世田谷区在住の発達障害のある方、またはその疑いのある方、その家族、関係者を対象としています。また、世田谷区の発達障害に対する支援を推進するための中核的な拠点施設として関係機関への支援や、広く区民の皆様に、発達障害について理解してもらうための活動をしています。

まずは
お電話
ください

世田谷区在住の発達障害のある方、またはその疑いのある方を対象としています。

03-5727-2236（「げんき」相談専用番号）

発達障害 Q & A

よく寄せられるご質問から

Q4 息子はアスペルガー症候群の診断を受けている大学生です。まじめにやっているのに単位が取れず、卒業も危ないようで困っています。

A4 ご本人にわけを聞いてみると、「ときどき10分ほど遅れてしまい、遅れたら教室に入ってはいけないうちで」そうです。そのため科目も再履修するはめになったとのことでした。こうした学生は増えていて、熱心にノートをとったり、質問をし、レポートを提出していても、そのポイントがずれていたり、内容がかたよっていたり、あるいは勉強以外のところで周囲とうまくやれない。結果として、本人の努力や意欲にかかわらず、ひどく苦労して悩んだり、脱落したり、排除されていったりすることも多いようです。

履修登録前に必ず学生課や相談室で確認し、支援を受けるよう本人に促すなど、発達障害の学生には本人にわかりやすい丁寧な配慮が必要です。一度言ったからもう必要ないと考えず、毎年確認が必要であることを大学に理解してもらうことも大切です。

一般的な情報を入手する、困ったことがあったら相談するといったこともアスペルガー症候群の人たちにとっては難しいことの一つです。まず誰にいつ相談するのか、何に困っているかわかっている、あるいは説明できないことも多いのです。キャンパスの中で戸惑い、途方に迷う、そんな学生がいることをまず知ってほしいと思います。そして、彼らのつらさや苦労を考えずに、「非常識」「不可解」「自分勝手」と安易に決めつけてしまうことの無責任さを認識してほしいと思います。

回答者

世田谷区発達障害相談・療育センター
診療所長・医師 山崎 晃資

世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

開所日時

月～土曜日（祝日及び年末年始を除く）
午前9時～午後6時

利用方法

世田谷区在住の方を対象としています。
相談・療育をご希望される場合は、まず、世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」にお電話ください。

TEL 03-5727-2236（相談専用）

〒157-0074 世田谷区大蔵 2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3 階
TEL 03-5727-2235（代表）
FAX 03-5727-2238
URL http://www.ryo-iku.jp

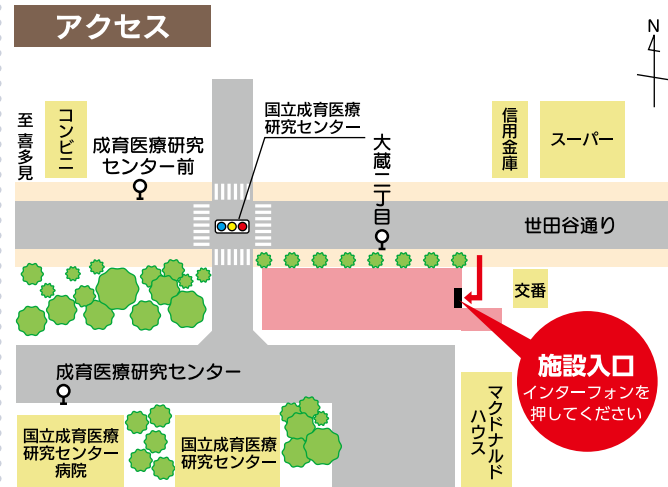
業務受託：社会福祉法人 嬉泉

〒156-0055 世田谷区船橋 1-30-9
TEL 03-3426-2323 FAX 03-3706-7242
URL http://www.kisenfukushi.com

編集後記

「げんき」スタッフが小学校や中学校を訪問させていただいたり、利用児が在籍する関係機関と連携する機会が増えてきました。子どもたちの成人になった姿をイメージしながら、支援をしていくことが大切だと考えています。今号では成人期の方たちのお話をご紹介しますが、発達障害に限らず「人はみな同じでなければならない」という見方で苦労されている方たちは多いのではないのでしょうか。

アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス・小田急バス

〔渋24〕 成城学園前駅 ↔ 渋谷駅

東急バス

〔都立01〕 成城学園前駅 ↔ 都立大学駅北口

〔等12〕 成城学園前駅 ↔ 等々力操車所

〔用06〕 成城学園前駅 ↔ 用賀駅

小田急バス

〔渋26〕 調布駅南口 ↔ 渋谷駅

東急コーチ

〔玉31・32〕

二子玉川駅 ↔ 成育医療研究センター

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。東急コーチ、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。

※専用駐車場はありません。

あなたの周りの少し気になる人々と上手につきあっていくために

成人の発達障害のある人たちの一面を紹介します。

こんなこともあります



(Aさんのいうことを
ぎいてビックリ)
えっ?!
本当ですか!!

Aさん

私がウソを
ついてるって
いうんですか?!



そんなこと
言って
ないよ…。

同じ表現でも場面や、会話の文脈によって、いろいろな機能が発生することを会得するのが苦手なことが多いです。

相手は驚いて思わず「え? ほんとう?」と言ったのですが、Aさんは、自分の言ったことを疑われたと感じてしまったのですね。

Aさんが急に怒り出したので戸惑ってしまいますが、こういう意味なんです、と丁寧に説明すると納得してくれます。決して怒りっぽい人ではなくて素直な人なんです。

いつ「うんうん」で、
いつ「それで?」なの?
タイミングが
わからないし、
1つ1つ判断するのは
とても疲れてしまう。



Bさん

Bさん、
私が一生懸命
説明してるのに、
ずっとだまって
聞いている。

なんか偉そう。
失礼じゃない?

言っていることを聞いて
理解するのに、精一杯。
あいづちをうつことまで
気が回らないんです。



そうだったんですね。それがわからなくて、つい頭にきてしまいました。社交的ではありませんが、仕事はとても丁寧で正確です。誠実さを感じてあげたいです。

他の人とコミュニケーションをとるときに、なんとなく、違和感を感じさせてしまう人がいます。ちょっとした表現や反応の違いに、目くじらをたてずに、こういう人もいるんだということ、人はみな同じじゃないということを分かりあうなら、世の中は暮らしやすくなるのではないのでしょうか。

課長!
できました!



Cさん

なに? 自慢?
早くできたこと、アピールしてるの?
ちょっと感じ悪い…。



Cさんは、「できるだけ早くやって下さい」という指示に、忠実に、がんばりました。

できたことをさっそく報告しただけなのですが…。悪気は全くないのです。

正直でまじめなのですね。